

# 水素社会実現に向けた 燃料電池ごみ収集車運用事業

1.5億円程度  
(事業期間3年間)

燃料電池ごみ収集車の開発・運用により、静穏性と排気ガス無しの特長を活かして①周囲生活環境改善と②地球温暖化抑制を図る。また、東京オリンピック・パラリンピック等での運用を通して、環境先進都市東京のブランド価値を高める。

## これまでのごみ収集車

①大きな騒音



①排気ガスによる  
周辺住民や作業  
者への悪影響

②CO<sub>2</sub>排出量問題  
エンジンにおける  
軽油の燃焼を通  
して多くのCO<sub>2</sub>  
を排出

①周囲生活環境改善

②地球温暖化抑制

## 燃料電池ごみ収集車

①静かな動作音



①水のみを排出  
するヒトに  
優しい車両

②CO<sub>2</sub>排出量削減  
水素エネルギー  
起源の電気モ  
ーター走行に  
よる走行中の  
CO<sub>2</sub>排出は  
ゼロ

## 事業内容の詳細

### ○ 東京都における運用形態に適した燃料電池ごみ収集車の開発と都内での実運用

- ・ 東京都におけるごみ収集車の運用形態を調査・分析した後に、**都内運用に最適化した車両の設計・開発・実運用・性能評価**を行う。車両開発は事業のコストパフォーマンスと信頼性の向上のため、当研究グループによる既開発車の改造対応とする。

### ○ 環境先進都市東京のブランド価値向上のための成果の海外・国内への情報発信

- ・ 長期実運用と同時に、**2020年東京オリンピック・パラリンピック**開催中に選手村やメディアセンターなどでも運用し、**環境先進性を世界へ発信**する。都内の小学校を対象に**環境教育の教材**としても活用し、**都民全体の環境意識向上**を図る。

## 事業実施による効果

- 開発車両の**静穏性**と**排気ガス無し**の特長から、ごみ収集作業時**周囲の生活環境が改善**する。同車両普及拡大により**最大で年間43279t-CO<sub>2</sub>が削減**可能。